

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年10月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673300044
法人名	医療法人誠心会
事業所名	グループホーム あったかハウス日吉
所在地	鹿児島県日置市日吉町吉利796番地 (電話) 099-246-8111
自己評価作成日	平成27年7月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成27年8月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

あったかハウス日吉では平成27年度の目標は、スタッフの介護力の向上を目指した目標を立てています。「報告・連絡・相談をしっかりとし、責任ある介護を目指しましょう」の目標のもと、スタッフ一丸となって目標に向けて、毎朝、唱和をしながら取り組んでいるところです。出勤したらまず入居者様おひとりおひとりに心をこめてご挨拶し声かけして、スキンシップにて、体調の小さな変化にも気付けるように日々心掛けています。また家族様と連携を密にして利用者様が安心して暮らせるように努めています。認知症対応型認知症施設として認知症についての内部、外部研修に参加し、スタッフ全員の質の向上を高めていくように努力しています。また地域行事への参加や、地域の方々に施設での行事に参加して頂き、交流の場作りにも取り組んでいます。

○近隣には田園が広がる交通量の多い国道に面して建てられているが、比較的静かでゆったりと落ち着いた雰囲気のある漂うホームである。グループの医療法人との連携は緊密であり、緊急時も含めて24時間十分な支援体制が整っており、利用者や家族からの信頼は厚いものがある。

○地域の自治会に加入し、清掃活動や地域の行事に積極的に参加しており、ホームが主催する花見や夏祭り等の行事に地域の方々に参加頂き日頃から交流は盛んである。また、保育園児との交流のほか、地域の方々や中高校生のボランティアの訪問も頻繁にあり、多くの実習生受入にも積極的に取り組むなど地域とのつながりは非常に深いものがある。

○管理者は職員に対して日常的に話しやすい雰囲気作りに努め、日頃から職員と密にコミュニケーションを図っている。職員同士の連携も良好であり、申し送りや毎月のミーティングでもケア及び運営に関する意見交換は活発で、これらを検討して業務やサービス内容の改善に具体的につなげている。

○法人内の研修も非常に積極的に実施されており、グループホーム内でも管理者自らが、認知症ケアや重度化した場合の支援などについて、熱心に職員の育成に取り組んでより良いケアの実現に職員と一体となって取り組んでいる。また、職員の資格取得や資格を活かせる職場環境づくりにも積極的で、職員のスキルアップを図っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	あったかハウス理念の「あったか地域であったか交流、みんなで作ろうあったかの輪」理念の下地域との交流を積極的に図っています。あったか日吉独自の目標も毎朝、唱和しています。	理念に沿ってホームの年度目標も掲げて、地域の中で利用者が家庭的な環境で生き生きとした生活ができるよう支援に取り組んでいる。理念及び目標は掲示並びに毎朝唱和して共有を図り、毎月のミーティングで達成状況を振り返っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の運動会や地域の総会、お祭りに参加したり、中学生や高校生がボランティアや交流学习ができたり、グループホームの行事にも参加してもらったり、地域との交流を大事にしています。	地域の自治会に加入し案内される総会や祭り・催し物等に積極的に参加している。ホームの花見や夏祭り等の行事には地域の方々にも参加して頂き、親しく会話を交わしている。中学・高校のボランティアや実習生も積極的に受け入れ、近隣の方々からは野菜の差し入れも頂くなど交流の機会は多く利用者も楽しんでいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の行事に参加したり実習生の受け入れなどにも積極的に行っています。また運営推進会議などで地域の認知症の方の把握や対応などについて、意見を交換しています。、職場体験等の推進にも努めております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	実地指導や外部評価の評価報告を行い、改善に向けての参考意見をもったり、2ヶ月に1回の会議では、施設の行事報告をを行い内容について意見を頂き、また、地域の総会にも出席し、質の向上に取り組んでいます。	会議は家族や地域住民、民生委員、市役所の職員等が参加して定期的に開催されている。ホームの現況報告や行事・課題等について意見交換が行われ、委員からは地域の情報も案内されている。また、感染症や認知症等をはじめとした多くの意見や提案等を職員で共有して、具体的に業務や日々のサービス向上に役立てている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議や市のグループホーム連絡協議会など市町村担当者と様々な意見や情報交換を行い日頃の協力関係を築いています。	市の担当者とは訪問や電話で、各種の手続きや運営状況、利用者状況について確認や相談を行い、適切に助言・対応して頂いている。また、市のグループホーム連絡協議会や研修会等にも積極的に参加して、意見や情報の交換を行い連携を深めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	勉強会や、ミーティングで職員が高齢者虐待、身体拘束等の認識を図り、身体拘束のないケアの取り組みを行っている。玄関の施錠については帰宅願望があり、室内を徘徊される方への対応として、常に行動の見守り、位置確認、傾聴にて、安全確認、気持ちの安寧を図ります。	職員は連携を図りながら「見守り強化」の徹底に努めている。特に言葉をさえぎることや気持ちの押さえつけ・行動制限の防止には、日々のケアの中や申し送り、毎月のミーティング、研修会、ヒヤリ・ハット事例の確認等で繰り返し協議して理解を深めると共に、安全確保やその人らしい暮らしを支援するケアへの反映を図っている。利用者が外出しそうな際は職員が同行し、近隣の方々には見守りや声かけをしてもらえる関係を築いている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会や、ミーティング等にて、高齢者虐待防止法について勉強したり、困っている事例があれば職員同士話し合いを持ちながら、理解の浸透や虐待の防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	勉強会やミーティングの中に取り入れ職員全員が地域福祉擁護事業や成年後見人制度について研修できるように取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に十分時間をとり利用者、ご家族に理解していただけるように詳しく説明している。また看取りについて、医療連携体制、必要な方への居宅療養管理指導についても時間をかけて説明し、疑問等なく納得して頂けるよう十分な説明を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者の方へ職員が声掛けして日頃の会話の中から、意見や要望を聞き取るようにしています。またご家族には面会時・家族会・アンケート調査により、意見や要望を聞き取るようにしています。	利用者には日頃から声かけて会話や表情から思いや意見の把握に努め、ご家族とは電話での会話のほか、面会時や家族会の際に、話しやすい雰囲気づくりに努めて多くの意見を頂いている。家族アンケートも実施しており、内容は職員で共有を図り、サービスに具体的に反映できるように取り組んでいる。ご家族へは電話やホーム便り、お手紙を通じ必要な報告を行っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	勉強会やミーティング、また朝の申し送り等で意見を聞くようにしている。また、日頃よりコミュニケーションをとれるようにし、しつこくいつでも意見や要望を聞けるような職場作りにし、働く意欲や質の向上に努めています。	管理者は、日々の申し送りや月次ミーティング、勉強会での対話の他に、必要に応じて個別面談で意見や提案の把握に努めている。また、日常業務の中でも話しやすい雰囲気づくりを心掛けている。得られた意見や提案は、業務改善や利用者へのサービス向上に具体的に反映できるようにし、職員の資格取得や資格を活かせるような職場環境づくりにも多くの配慮をしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員が常に向上心を持って働く事ができるように資格取得の支援や、資格を生かすことのできるような労働環境づくりに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所内はもちろん事業所外で開催される研修にも希望をとり、職員1人1人に合った研修なども見極め受講できるようにしている。また勉強会にて報告し、全職員が報告を聞き報告書を閲覧できるようにしています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>日置市内の地域密着型の施設全体での研修に参加して意見交換・情報収集などを行っています。県や市の研修、その他必要な研修があれば参加し、他のスタッフと交流を深め質の向上に励んでいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用者と話す時間を十分にとり言葉や、行動により本人がどうしてほしいか、どうしたいのか、ご家族の要望を把握するように努めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族が困っていること、不安、要望など、面会の時や電話など、時間をかけた話し合いをし、よく聞き受け止めるように職員全員努力している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者、ご家族が必要としている支援については、早急に限り柔軟な対応を行い、それ以外は、職員並びに主治医等を交えて対応に答えられるようにしています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人が出来ないことよりできることに重点を置いたケアに努めています。一方的にケアされるのではなく、役に立てる自分であることに気づいて生きがいを持って生きていけるよう支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の喜怒哀楽、日々の変化や達成できたことなど生活の様子をこまめに伝えて、家族と職員が一緒になって支えているような関係作りに努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者が希望する時は、利用者が馴染みの美容院を利用したり、知人の方が面会に来られた時も、またおいでいただけるように働きかけています。	これまでの馴染みの関係等は、入所時の聞き取りの際に具体的に把握し、利用者の家族をはじめ知人・友人の来訪時には、ゆったりと過ごせるように支援している。また、ご家族とも話し合いながら、本人が希望する買い物や自宅近隣のドライブ等への同行のほか、手紙や電話の取次ぎも積極的に行っている。墓参りや一時的な帰宅はご家族にお願いしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う方同士で、話ができるようにフロアにソファーやテレビを置き、過ごしていただけるような環境つくっています。また自ら発語の無い方は、孤立しないようスタッフが間に入って会話を取り持っています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ホームを退所され、サービスが終了されても、入院されてる方はお見舞いに行き、ご家族の方には、いつでも相談に応じることを話し、継続的な付き合いができるように心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	行動や、表情により把握に努め、また、意思疎通困難な方にはご家族等から情報をいただき、職員全員で検討を行っています。	利用開始時の本人や家族からの聞き取りや、ご家族来訪時の対話、また、利用者との日頃の会話や表情・所作から思いや意向の把握に努めている。利用者の好きなこと、例えば、読書や新聞閲覧、日記、庭いじりなど、職員は情報を共有し、十分な話し合いで必要な対応を検討、また、ご家族とも相談しながら利用者本位の支援となるように努力を重ねている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用時に、利用者、ご家族に十分な時間をかけ聞き取りをおこない、過去の具体的な情報を聞くことに努めている。またこれに伴い、相談受付表も作成している。利用者の趣味等で使用している物も持ち込んでいただき、日々の生活において楽しめるように心がけています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居以前の情報をご家族に聞き一人ひとりの生活リズムを把握し、できることから検討していくように努力しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者やご家族の意見や思いを聞き、主治医、職員でアセスメントを元に検討会を行っており、できなくなった活動も少しでもできるように職員全員で話し合い反映できるようにしています。	本人や家族の意向や希望、主治医の指示等を基にして、担当職員を中心に検討会を行いきめ細かな介護計画を作成している。ケアの経緯は、わかりやすい記述の支援経過記録や定期的なモニタリング等で共有し、変化する利用者や家族の思いや意見・状況等を把握して、計画の見直し修正を適切に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日ケアプランやモニタリングチェックを行い、気づきがあれば個別記録に記録し、毎日チェック時と検討会にて職員全員が共有し見直しに活かしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者やご家族の要望に臨機応変に対応できるよう、他施設との連携や情報収集に努め、本人のニーズにあったサービスを提供できるよう努めています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>利用者が地域の暮らしを続けられるように、民生委員、ボランティア、地域住民等の方々と交流する機会を多く持つように努力しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者様やご家族の希望を含め、医療連携や、居宅療養管理指導により、主治医との連携を密にしています。</p>	<p>利用前の受診状況は十分把握し、家族やかかりつけ医との連携を密にして訪問診療を適切に支援している。グループの医療機関とは24時間連携が図られており、緊急時にも適切な医療が受けられる。また、週1回はグループの医療機関の看護師の訪問もあり、受診状況や必要な対応についても職員で共有が図られ、家族とも適切に連絡が取られている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護ステーションとの契約に基づき、日頃の健康管理や医療面での相談、助言、対応を行ってもらっている。訪問看護ステーションの看護師とは、気軽に相談できる関係ができているため、いつでも連絡、相談ができるような体勢を確保しています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には医療機関へ、利用者の情報を提供し、毎日職員がお見舞い、ご家族に報告したり、ご家族より情報をいただいたり、状況を三者が協力して退院支援に結び付けています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に終末期について説明を行い、ご家族の希望があれば終末期に向け利用者、ご家族、主治医、看護師、職員全員で方針を話し合うようにしているが、まだ終末期を施設で希望する方はおられない。</p>	<p>重度化や終末期のケアについては、「重度化対応・看取り介護指針」を定め、家族に説明して同意を得ている。本人や家族の思いや状況の変化の都度、本人や家族と十分に話し合い、医師・看護師・職員で密に連携を図り、ホームとして様々な状況に可能な限り支援・対応できる体制を築いている。また、関連するマニュアルの整備や研修も適切に行われている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>勉強会に消防署の協力を得て、救急手当や蘇生術の実技を取り入れている。また緊急時対応については、マニュアルを作成し周知徹底をおこなっています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回利用者と地域の方に協力を頂き、避難訓練を行っており、地域協力体制については、月1回の交流会や運営推進会議、また隣接している職員寮と協力して緊急時に対応できるようにしています。</p>	<p>年2回のうち1回は消防署と連携して避難訓練・消火訓練・勉強会を実施している。訓練には地域住民の参加も得られ、隣接する法人の職員寮とも連携体制が築かれている。関連するマニュアルの整備や研修も行われ、食料や飲料水の備蓄並びにスプリンクラーや自動通報装置等の設置もあり、問題のない状況である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	勉強会やミーティングで職員が個人情報保護法の意識向上を図るとともに利用者の尊厳を大事にするように対応しています。	利用者の人格を尊重し、日常のケアで、利用者の誇りやプライバシー確保に関して不適切な対応や言葉かけを行わないように、日々の申し送りや毎月のミーティング等を通じて方法を検討・共有して実践に取り組んでいる。接遇や個人情報保護に関する研修も実施されると共に、居室や各種の個人記録も適切に保護されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員側で決めたことを押しつけるようなことはせず、複数の選択肢を提案して一人ひとりの意思を尊重し、利用者が自分で選ぶ場面をつくっています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な流れはあるものの、一人ひとりの体調や、気持ち、ご家族から伺った情報に配慮しながら、柔軟に対応しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	個々の生活習慣に合わせる支援をし、支援が必要な方は職員と一緒に考え本人の気持ちにそった支援をおこなっています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の食事の時間や、会話の中で食べたい物を聞き、一人ひとりの嗜好を考え献立をたて、買い物、調理、片づけ利用者と共に、職員と利用者楽しく食事ができるような雰囲気を大切にしています。	野菜の下ごしらえや食卓の後片付け等できることを利用者と共に、和やかな雰囲気の中で会話をしながら食事を摂っている。また、差し入れの野菜も活用しながら利用者個々の好みや健康状態に応じたメニューや調理方法にも対応し、季節の行事食や弁当持参の花見、保育園児と一緒に手作りソーメン流しなど多様な食事を工夫して提供している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取量を毎日記録しており、一人ひとりの状況の把握をしています。傾民、食事拒否のある方は、時間を置いて声掛けして摂取していただいています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後一人ひとりに口腔状態や、力に応じた対応を行っている。就寝前には義歯洗浄を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意、便意が無い方でも時間をみて、トイレにて排泄できるように支援している。時間や習慣を把握しトイレ誘導によりトイレでの排泄を促しています。	利用者の様子観察を細かく行い、個人の習慣や身体機能にも配慮しながら、昼間は可能な限りトイレで排泄できるように支援している。支援の際は、早目にさり気なく声かけするなど、羞恥心や不安の軽減につながるようしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食材の工夫や散歩、軽体操により自然に排泄出来るように取り組み、必要時には、医療連携により主治医に相談しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴時間は決めてあるが、毎日利用者に聞き希望があればその時間以外でも入浴できるように努めています。夜間の入浴訴えがある時は、翌朝一番に入りますように声掛け対応しています	利用者の健康状態に配慮し、状態によっては足浴や清拭への変更を取り入れながら、ゆっくりとした気分で入浴を楽しめるような支援に努めている。入浴を拒否する場合は、無理強いすることなく、時間や日程の変更、タイミングの良い声かけなど工夫して本人の意欲を待つようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を促し、体調や表情を考慮し、ゆっくり休息がとれるように支援している。寝付けない時は、話をしたりしながら一緒に過ごしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の一覧表にて職員全員が内容を把握できるようにしている。処方箋の変更があった場合には、ミーティングや検討会などにて申し送り、全員が把握し状態変化に対応できるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	新聞を読む、テレビを観る、共同作業に参加、草取り、花の水遣り、モップがけをする、野菜の下ごしらえなど、それぞれの好みや身体能力に見合った役割、楽しみ方を支援しています		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	利用者の希望に応じて、散歩、買い物、墓参り、ドライブなど外出により季節を感じてもらえるように支援しています。毎日散歩をされる利用者もおられます。	利用者の健康状態や天候を見ながら、本人の希望に沿って散歩や日光浴、買い物、自宅近隣へのドライブ、庭いじりなどを楽しんで頂いている。年に数回は、季節の花見や地域行事の見物も支援している。ご家族の援助のもとでの一時帰宅や墓参り、外食も勧めている。中高校生の職場体験学習の際には、利用者との散歩や日光浴などもお願いしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>利用者間の協力にて、少量のお金を持っておられる方もいらっしゃいます。買い物に出かけた場合は、利用者の方に自分で払ってもらい買い物の楽しみやお金の大切さを理解してもらえるようにしています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族に電話しやすい雰囲気をつくったり、電話をかける手伝いをしています。話が出来ない方は職員から様子を報告したり、毎月のお手紙にて状況報告をしています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節のものを飾ったり、ソファや冬はコタツなどの家庭的な調度品を持ち込んだり、装飾も派手にならず、温かい雰囲気になるように心がけています。</p>	<p>リビングの壁には、利用者と職員が共同で作成した、季節感ある飾りや貼り絵、それに行事の写真などが飾られ、落ち着いた雰囲気の中で、静かにゆったりと過ごせるように工夫されている。室温や換気調節にも十分に配慮がなされて畳のスペースや大きめのソファが配置され、利用者にとって不快に感じる音や匂いなども感じられず、自由に、そして気持ちよくくつろげるような環境である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フロアにソファを置いたり、和室にテーブルを置き、気のあつた方と過ごしたり、ご家族とゆっくり過ごすことのできる場所を確保しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者、ご家族とも相談をして、仏壇、写真、テレビ、好きな家具を持ち込むことにより、安心して居心地良く過ごしていただけるようにしています。</p>	<p>居室は畳部屋と洋室があり、全室ベッド・タンス・ロッカー・エアコンが設置されている。部屋に置かれているテレビ・家具・写真・小物・日用品などは、本人やご家族の希望のものを自由に持ち込んでもらい、自分の部屋として本人が安心して居心地良く過ごせるように支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>施設内外ともバリアフリーの設計となっており、施設の至る所に手摺りなども設置してあり、安全確保への配慮をしています。また、トイレの場所や自室がわかるような表示をして、じりした生活を支援しています</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない